

# 臨床質量分析共用プラットフォーム 事務局からのご挨拶

臨床質量分析共用プラットフォームは、文部科学省の先端研究基礎基盤事業（共用プラットフォーム形成支援プログラム）の助成を得て、平成28年8月から開始されたプロジェクトです。当該事業は、産学官が共有可能な研究施設・設備などについて、その整備・運用を含めた施設間のネットワーク構築により、高度な計測分析機器を中心としたイノベーションシステム創出のためのプラットフォームを形成すると共に、日本の研究開発基盤の持続的な維持・発展に貢献することを目的として進められています。

本プラットフォームは、横浜市立大学 先端医科学研究センター（代表機関）、国立がん研究センター研究所、北里大学理学部の3機関が連携したプラットフォームです。これらの機関が所有する質量分析技術を多くの研究者に利用していただき、大きな研究成果を挙げていただくことが最大の目的になっています。

参画3機関は、ほとんどすべてのプロテオーム解析に対応できる質量分析技術とその周辺技術、すなわち、試料調製技術、データ解析技術、臨床検証技術などを持っています。多くの研究者に高度な技術を継続的に提供するため、3機関が共同で、さらに3機関と国内外の研究機関が共同で技術開発研究を進めています。また、高度な技術を用いて分析ができる人材、また、新しい技術の普及に貢献できる人材の養成に努めています。

本プラットフォームは、ワンストップシステムをとっています。このPFを利用される方は、まず、代表機関である横浜市立大学 先端医科学研究センターの臨床質量分析共用プラットフォーム事務局（窓口）にウェブサイトを利用してご相談下さい。事務局は、機器の空き具合、分析の内容などからいつから利用していただけるのかについて判断いたします。複数の機関の利用の可能性もあります。

本プラットフォームは、利用者の皆様が大きな研究成果を挙げるように皆様の質量分析を全面的にサポートいたします。ぜひ多くの方々にご利用いただきたいと思います。